

学校コンプライアンス行動指針

～本校職員としての使命を自覚し、信頼される教職員となるために～

鹿児島高等特別支援学校

学校コンプライアンスとは

コンプライアンスは法令遵守と訳されますが、法令を守ることは当然のこと、学校教育目標達成のための取組や生徒の人権尊重、保護者や地域への説明責任、同僚との関係などを踏まえて行動することも含めて学校コンプライアンスととらえています。

全職員が共通の認識をもち、生徒の社会自立を目指して日々の教育実践に取り組み、生徒、保護者、地域住民から信頼される学校となるために本指針を策定しました。

各個人が心がけるべき行動指針

服 務 規 律

- 私たちは全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、全力を挙げて職務を遂行します。
- 勤務遂行中は当然のこと、勤務時間外であっても、自らの行動が学校全体の信用に影響することを常に意識して行動します。
- 利害関係のある業者からの金品を受け取ったり、懇意な関係になったり県民の信頼を損なうことがないように心がけます。

交 通 法 規 の 遵 守

- 悲惨な交通事故を防止するため、また率先して法令を遵守すべき公務員として、交通法規を遵守し、安全運転を心がけます。
- 飲酒運転や酒気帯び運転は絶対に行わず、また、飲酒をした者の運転の乗車もしません。
- 万一、事故が起きた場合には、事故後の負傷者の援護、路上の危険防止、警察への連絡など適切な対応を行うとともに、速やかに上司に報告します。
- スピード違反など運転中の自分の意志で防ぐことのできる交通違反はしないように努めます。

情 報 管 理

- 教育活動を目的として収集した個人情報の管理については本校の情報セキュリティポリシーに基づき適切に管理、活用します。
- 学校評価やいじめ防止対策基本方針など広く県民に広報すべき情報については積極的に公表します。
- 個人情報を収集するときには使用目的を明らかにするとともに、必要最小限の情報収集を心がけます。

行 動 指 針	ハ ラ ス メ ン ト の 防 止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒に対するセクシャルハラスメントは、将来にわたって心に傷を負わせるものであり、生徒の健やかな成長を願う教職員には絶対にあってはならないことと認識し、その防止に努めます。 ○ 同僚に対するセクシャルハラスメントは、相手を不快にさせるものであり、更には同じ職場に働く者の人権や権利を侵害するものであることを認識し、その防止に努めます。 ○ 管理職や職場の上下関係などの立場を利用した嫌がらせ（パワーハラスメント）は職場環境の悪化や生徒への指導力の低下を招くことを認識し、その防止に努めます。
	人 権 の 尊 重	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の障害特性を把握し、人権を尊重した学習指導や生徒指導に取り組み、いじめ等により生徒同士による人権侵害が起こることがないような指導に努めます。 ○ 体罰は生徒の人権を侵害する行為であり、法令違反でもあることを自覚し、障害の特性や発達段階を考慮した指導に努めます。 ○ 生徒に対する暴言など言葉による暴力も体罰と何ら変わることはないという認識を持ち指導します。
	指 導 力 の 向 上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の社会自立を目指すため、自己の専門教科や担当する教科等の指導力向上のための研修に努めます。 ○ 服務に関する研修では常に自分のこととして捉えるとともに、不祥事根絶強調月間の活動にも積極的に取り組みます。 ○ 土曜日の授業や学校開放など特色ある教育活動の実践に努めるとともに、保護者、地域社会に開かれた学校に努めます。

学 校 と し て の 重 点 事 項		
モラルの向上	開かれた学校	働きやすい環境
1 服務規律に関する研修の工夫 2 不祥事根絶強化月間の取組の充実 3 新聞記事やWebニュース記事の配布や掲示 4 職員朝会、職員会議での管理職講話	1 いじめに関するアンケート調査と結果の活用 2 企業を対象にした学校見学会の実施 3 地域住民を対象にした販売会、学校見学会 4 生徒による公民館・公園清掃	1 学校経営の明確化と各個人のベクトルの焦点化 2 一人一役による校務分掌組織 3 データの共有化や校務Webシステムの効活用 4 管理職による文書起案時のOJT